

医師(ガン治療権威)の監修で医療機器メーカーが完成させた医療機関向け遠赤外線温熱マット



「がん治療で最低限必要なことは温熱治療で体を温めること。ただし、がん患者にストレスを与えないことが大切です。ストレスを感じると免疫力が下がる。温熱治療も病院で受けると大きな機械に入りますよね？それだけで患者がストレスを感じる。だから、温熱治療はがん治療の基本中の基本だけど、病院でやるのではなく、家でテレビを見ながらとか寝ながらとかできる温熱治療が本当に有効なんです。」

「自宅でできる温熱治療」を目指して医師監修の元、2015年に完成しました。それ以来、医療機関向けとして様々な場所で利用され続けています。



メディカルマット
医療機関向け価格 ¥148,000円



健康の近道は身体を温めること

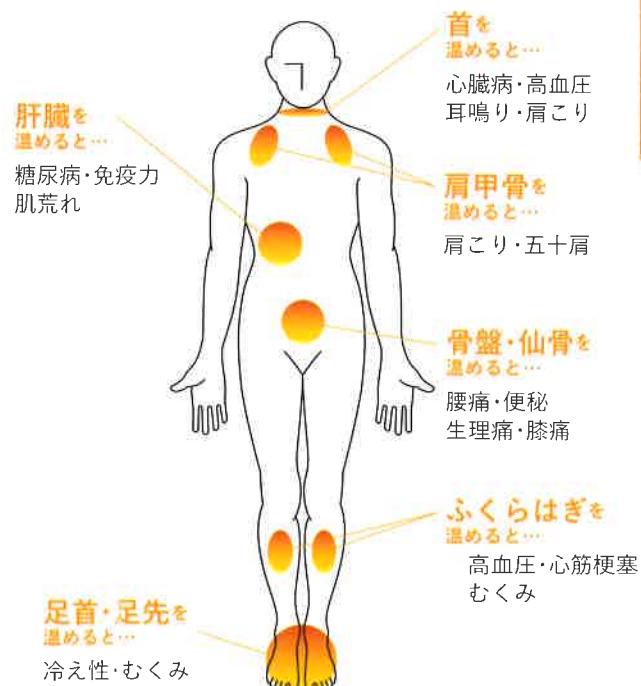
身体を温めると、体内では体温を下げるために血管が広がります。血管が広がるとそれだけ流れる血液量が増えるので、血行が良くなります。血行がよくなると、食べ物などから摂取した栄養を体の隅々の細胞までしっかりと届けることができます。また、温まることで免疫力も上がります。これが「ひかり温熱療法」です。



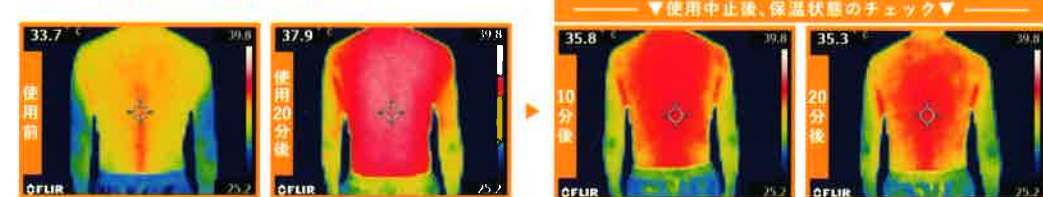
育成光線による身体への効果

育成光線で身体を温めて、悩みを解決します。

〈効果のポイント〉



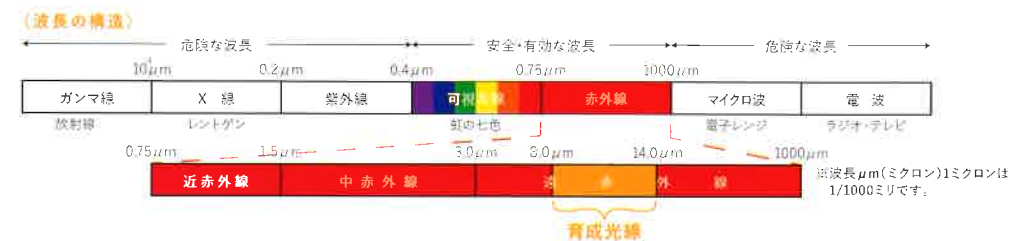
〈サーモグラフィ調査結果〉



サーモグラフィによる低温チェックの結果を見ていただくとわかるように、使用中止20分後もしっかりと身体が温まっています。これは、育成光線による体内の分子活動が、使用中止後も続いている証拠です。

育成光線が寝ている間に血行を促進

育成光線とは、遠赤外線の特定の波長(8~14μm)で、生命に欠くことのできない重要な波長なのです。実はこの「育成光線」の効果により、遠赤外線が健康に良いと言われていたのです。身体が育成光線を吸収すると、身体の分子活動が活性化し細胞レベルで温まり、血行を促進します。メディカルマットは、ベッドの下に敷けるので、寝ている間に血行を促進してくれるのです。



おすすめの使い方

寝室で敷布団の下に



リビングで-お座敷のように-

※モデルの身長:164cm